2026 年 3 月 31 日作成　Ver.2.0

≪情報公開文書≫

頭頸部がん再建術後患者に対する専従管理栄養士の介入効果の検証

研究の概要

【背景】頭頸部がんやそれに対する手術を受けた後は飲み込む時の痛み、食欲不振などの理由で十分に食事が摂れなくなる患者さんが多く、その結果、体重や筋肉が減る、体力が落ちるなど“低栄養状態”に陥る割合が多いと報告されています。管理栄養士によるカウンセリングや、栄養補助食品追加などの介入は、十分な栄養素確保による低栄養状態の改善、入院期間の短縮、日常生活への復帰に対して有効とされています。

【目的】当院では 2025 年から耳鼻咽喉科病棟へ専従の管理栄養士を配置し、手術を受けるすべての頭頸部がん患者さんへ、管理栄養士による介入を開始しました。この研究では、専従管理栄養士による介入が、患者さんの摂取エネルギー量や栄養状態にどのような影響を与えたか検証することを目的としています。

【意義】病棟専従の管理栄養士を配置することで、手術を受けた患者さんの摂取エネルギーが増加し、栄養状態がよくなることで、元の生活に早く戻れるようになる可能性があります。

【方法】患者さんが手術を受けた後の摂取エネルギー量や、食事内容（食事の硬さ）、体重など栄養状態の指標を、専従管理栄養士を配置する前と後とで比較し検証します。

対象となる患者さん

2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に、頭頸部がんに対する咽頭喉頭頸部食道全摘術を受けた患者さん。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

・エネルギー摂取量（食事または栄養剤から摂取した量）
・体重の変化量
・医療用チューブを用いた栄養剤の投与や、栄養目的に点滴を終了した日
・退院する時点の食事内容
・身長
・血液検査データの結果（血清アルブミン値）

情報の利用開始予定日／提供開始予定日	
本研究は 2026 年 4 月 2 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2026 年 9 月 13 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院　栄養管理センター 氏名：深山　侑祐 住所：長崎県　長崎市　坂本 1－7－1 電話：095（819）7240
情報の管理責任者	長崎大学病院　病院長
問い合わせ先	機関名：長崎大学病院 栄養管理センター 氏名：深山　侑祐 住所：長崎県 長崎市 坂本 1－7－1 電話：095-819-7200
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室　095（819）7200 受付時間　　：月～金　8：30～17：00（祝・祭日を除く）	